

伊丹市使用料手数料等審議会

小委員会資料

令和5年6月

伊丹市交通局

小委員会における検討事項

検討事項1 経営改善に向け今後優先的に取り組むべき事項

(1) 経営健全化の推進

- ①乗務員の確保と人件費の抑制
- ②需要に見合った効率的なダイヤ
- ③新たな需要を取り込むための方策
- ④キャッシュレス化の推進
- ⑤新たな収益の確保
- ⑥投資（建設改良事業費）の抑制
- ⑦一般会計との経費負担区分

(2) 安全対策・サービス向上の推進

- ①事故の削減
- ②便利で快適なバス利用環境の整備
（再掲）キャッシュレス化の推進
- ③定時性の確保
- ④職員の接遇マナー向上
- ⑤脱炭素社会の実現に向けた取り組み
- ⑥積極的な情報発信

検討事項2 乗合旅客運賃改定（値上げ）の要否について

検討事項3 乗合バスとして確保すべきサービス水準と市営バスに求められるサービスについて

小委員会検討用資料

【検討事項1】

○経営改善に向け今後優先的に取り組むべき事項

1. 経営健全化の推進

- (1)乗務員の確保と人件費の抑制
 - ・会計年度任用職員による退職者補充の継続
 - ・正規職員（乗務員）採用再開に向けた適正な給与水準の検討
- (2)需要に見合った効率的なダイヤ
 - ・コロナ禍以降の需要に対応したダイヤによる運行
 - ・いたみバスナビを活用した利用実態の把握
- (3)新たな需要を取り込むための方策
 - ・潜在的な需要を掘り起こす運賃制度の検討
- (4)キャッシュレス化の推進
 - ・定期券販売窓口（市バス総合案内所・営業所窓口）でのクレジットカード決済
- (5)新たな収益の確保
 - ・旧職員待機公舎の解体と跡地活用
- (6)投資（建設改良事業費）の抑制
 - ・乗合車両の使用年数延長
 - ・業務量に見合った適正な事業用車両の配置（車両数の適正化）
- (7)一般会計との経費負担区分
 - ・特別乗車証負担金
 - ・一般会計補助金

2. 安全対策・サービス向上の推進

- (1)事故の削減
 - ・ドライブレコーダー映像を活用した職場研修等による乗務員の安全意識の向上
- (2)便利で快適なバス利用環境の整備
 - ・老朽化したバス停所諸施設の計画的更新（再掲）定期券販売窓口（市バス総合案内所・営業所窓口）でのクレジットカード決済
- (3)定時性の確保
 - ・運行実績データに基づく適正な運行計画の策定
- (4)職員の接遇マナー向上
 - ・利用者によるモニタリングの充実
- (5)脱炭素社会の実現に向けた取り組み
 - ・試験導入した電気バスによる実証運行
- (6)積極的な情報発信
 - ・経営状況やサービス向上の取組等の見える化

≪ 1-(1)関係資料 ≫ 今後の乗務員退職者数の推移と採用区分別乗務員数の試算

<参考> R4年度末在籍正規職員乗務員（再任用含む）の平均年齢52.0歳、最年少者43歳。

	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
正規職員乗務員退職予定者数	0	7	0	5	0	5	0	3	0	10
平日勤務数※1	118	118	118	118	118	118	118	118	118	118
必要乗務員数（勤務数×7日÷5日※2）…A	165	165	165	165	165	165	165	165	165	165
正規職員乗務員数（年度末退職者除く）	109	102	102	97	97	92	92	89	89	79
再任用職員（年度末退職者除く）	7	14	13	17	12	10	5	3	0	0
合計正規職員乗務員数…B	116	116	115	114	109	102	97	92	89	79
翌年度に必要な会計年度任用職員乗務員数…(A-B)÷0.8※3	61	61	63	64	70	79	85	91	95	108

(注) 本表は、以下の条件により必要乗務員数等を試算したものであり、今後の採用計画等を表したものではない。

1. 平日勤務数は、R5に予定しているダイヤ改正後の想定勤務数であり、以降変更がないものと仮定。
2. 必要乗務員数は、週2日の公休日を勤務日数から除外して算定。
3. 会計年度任用職員の勤務条件は週4勤3休のため、0.8人で換算。

≪ 1-(4)関係資料 ≫ 定期券運賃のクレジットカード決済導入に要する経費

定期券運賃収入（令和3年度実績）	370,766千円
うち、通勤定期 … ①	353,330千円

カード決済手数料 … ①×1/2×3%	5,300千円
---------------------	---------

※通勤定期券利用者の50%がカード決済を利用すると仮定。
決済手数料は、利用金額の3%で計算。

※その他必要な経費

定期券販売システム改修経費（見込）	7,000千円
-------------------	---------

≪ 1-(6)関係資料 ≫ 乗合車両更新計画

	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6	R7
期首在籍車両数（電気バス2両を除く）	93	93	93	93	93	92	92	90
購入車両数	5	5	0	6	5	5	3	5
廃車車両数	5	5	0	6	6	5	5	5
増減車両数	0	0	0	0	▲ 1	0	▲ 2	0
期末在籍車両数	93	93	93	93	92	92	90	90
平均車齢(年)	9.0	9.1	10.1	10.0	9.8	9.7	9.9	9.8
勤務数（年度末現在の平日仕業数）	133	131	121	121	121	118	118	118
期末在籍車両数／勤務数	0.70	0.71	0.77	0.77	0.76	0.78	0.76	0.76

※R5以降は、いずれも見込み。

≪ 1-(7)関係資料 ≫ 特別乗車証交付枚数等の推移

(単位：枚・千円)

		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
障がい者等	交付枚数	3,606	3,661	3,525	3,588	3,604	3,558	3,753	3,575	3,472	3,555
	負担金	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000	67,000
高齢者	交付枚数	24,089	25,401	25,018	26,380	27,881	28,900	29,808	30,762	30,046	30,986
	負担金	530,000	530,000	530,000	530,000	530,000	530,000	530,000	530,000	530,000	530,000
合計	交付枚数	27,695	29,062	28,543	29,968	31,485	32,458	33,561	34,337	33,518	34,541
	負担金	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000

※本表における発行枚数は、年間総発行枚数から失権枚数を控除した枚数である。

≪ 1-(7)関係資料 ≫ 一般会計補助金の推移 (※第1回全体会資料P.17「【表5】再掲)

(単位：千円)

		H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4決算見込 (2022)	R5当初予算 (2023)	備 考
基礎年金拠出金公的負担 経費相当額補助金	収益的 収入	46,725	48,771	47,693	45,739	46,606	50,794	基礎年金拠出金に係る公的負担として交通事業会計 が負担した経費に対する補助
共済追加費用負担経費 相当額補助金	収益的 収入	22,346	19,106	18,869	16,393	13,814	15,552	地方公務員等共済組合法施行時(S37)以前から地方 公務員であった者の年金給付費用の事業主負担に対する 補助
児童手当給付経費 相当額補助金	収益的 収入	14,125	12,776	11,246	10,638	9,630	9,024	児童手当の給付に要する経費の一部に対する補助
市 営 バ ス 路 線 維 持 補 助 金	収益的 収入	143,880	143,202	142,220	137,304	148,219	150,000	人件費を京阪神ブロック民営事業者平均ベースに置 換えてもなお収支不足を生じる路線の収支不足額相 当補助
伊丹市交通事業者燃料 価格高騰対策補助金	収益的 収入				16,254	23,541		市内で運行しているバス事業者（伊丹市交通局、阪 急バス、阪神バス）及びタクシー事業者に対する燃 料費高騰分に対する補助
市バス運行継続支援金	収益的 収入			300,000				新型コロナウイルス感染症の影響による乗車料収入 減収額から一部減便による経費削減額を控除した額 に対する補助
新型コロナウイルス 感染症拡大防止 対策補助金	収益的 収入			12,295				新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策経費 (バス車内抗菌・抗ウイルス施工他)を行うために 必要な経費に対する補助
	資本的 収入					226		
空港エクスプレスバス 整備補助金	収益的 収入		1,281					空港線専用車両（空港ライナー）導入のため増嵩す る経費（施設改修・車両架装品等）に対する補助
	資本的 収入		6,283					
超低床乗合車両 購入経費補助金	資本的 収入	8,100	7,926					バリアフリー車両(ノンステップバス)導入にかかる 増嵩経費補助
電気（EV）バス導入 事業費補助金	資本的 収入					75,283		電気バス試験導入事業費に対する補助 電バス車両2両及び急速充電設備等 総事業費106,590千円－国庫補助31,307千円
	収益的 収入	227,076	225,136	532,323	226,328	241,810	225,370	
	資本的 収入	0	6,283	0	0	75,509	0	
	計	227,076	231,419	532,323	226,328	317,319	225,370	

≪ 1-(7)関係資料≫ 路線別営業収支の状況 (令和3年度実績)

[系統番号順]

系統番号	路線名	営業係数	路線長 (km)	運行回数 (回)	実車走行和 (km)	輸送人員 (人)	収支 (千円)
1	J R 小井内 荒牧公園線	121.91	9.3	12.0	70,671	355,009	△11,239
2	J R 桜ヶ丘 荒牧公園線	111.73	6.6	73.0	334,851	1,835,441	△31,097
3	サンシティ 荒牧公園線	167.48	9.0	6.5	34,731	126,999	△12,383
4	J R 池尻 中山寺線	131.64	9.9	5.0	37,333	173,674	△7,940
5	J R 中山寺 伊丹線	121.99	7.6	18.0	82,969	416,519	△13,234
6	J R 小井内 池尻線	83.69	4.9	1.5	3,543	25,928	611
7	J R 小井内 鴻池線	116.72	7.8	49.0	274,833	1,441,983	△34,839
13	J R 伊丹病院 山田線	132.34	5.9	7.0	32,308	149,512	△6,986
14	J R 伊丹病院 昆陽里線	139.93	5.1	25.0	82,712	361,978	△20,887
16	J R 松ヶ丘 中野大橋線	81.25	3.9	0.5	940	7,088	192
17	J R 昆陽池 西野団地線	108.95	6.2	24.0	94,655	532,027	△6,884
18	J R 松ヶ丘 西野団地線	107.83	6.1	37.0	165,279	938,663	△10,622
20	伊丹病院 岩屋循環線	147.85	12.3	1.0	5,905	24,456	△1,691
22	岩屋循環線	242.81	9.5	15.0	101,937	257,102	△53,053
23	岩屋循環線 (クリンスポーツ廻り)	191.62	11.3	2.5	17,718	56,624	△7,496
24	サンシティ 東部循環線	136.61	13.4	0.5	3,217	14,420	△763
25	伊丹 空港線	210.71	13.3	18.5	179,098	520,532	△83,268
30	伊丹 三師団線	330.67	6.4	3.0	13,901	25,743	△8,581
31	山本 団地線	229.29	7.4	19.0	97,247	259,734	△48,522
32	山本 団地 三師団線	1,294.02	6.9	0.5	1,711	810	△1,397
33	塚口 堀池 団地 J R線	110.94	6.5	1.5	12,720	70,218	△1,110
34	塚口 堀池 団地 伊丹線	107.20	5.8	7.5	25,352	144,841	△1,506
35	塚口 堀池 団地 昆陽里線	126.67	4.9	17.0	56,972	275,449	△10,613
36	伊丹 山田線	200.52	6.0	10.5	46,716	142,672	△20,723
37	塚口 J R 伊丹線	121.33	5.8	37.0	165,607	835,924	△25,758
39	山田 三師団線	1,460.00	7.5	0.5	908	381	△748
40	塚口 伊丹病院 三師団線	130.52	5.1	35.5	104,943	492,411	△21,712
41	近畿病院 山田線	126.01	3.7	28.0	88,733	431,252	△16,206
43	佐々原 山田線	125.78	3.9	8.5	25,592	124,598	△4,642
44	近畿病院 線	45.57	2.1	1.0	1,012	13,609	1,070
49	J R 北野線	100.55	6.0	2.5	9,462	57,631	△46
50	J R 北野 三師団線	170.61	10.4	0.5	3,765	13,515	△1,379
51	J R 荻野 鶴田線	107.27	6.1	47.0	208,907	1,192,701	△12,522
52	J R 荻野 中山寺線	138.46	8.4	6.0	33,718	149,132	△8,287
53	J R 伊丹 坂荻野線	102.90	5.9	2.0	7,168	42,659	△179
54	J R 荻野 南三師団線	218.09	9.8	0.5	1,186	3,328	△568
55	J R 中山寺 荻野 三師団線	240.09	8.4	1.0	5,090	12,986	△2,628
60	塚口 池尻 三師団線	160.62	8.8	1.5	6,435	24,537	△2,149
61	塚口 近畿病院 三師団線	165.06	7.0	13.5	60,347	223,896	△21,049
62	塚口 佐々原 三師団線	222.43	7.2	6.5	25,258	69,541	△12,302
82	猪名川 下河原線	967.44	3.9	0.5	940	593	△746
84	市役所 下河原線	366.46	5.8	8.5	37,393	62,489	△24,059
	合計	131.84			2,563,783	11,908,605	△547,941

[営業係数]

100円の収益をあげるために必要な費用を表したもので、「経費÷収益×100」の算式で求められる。

[路線長]

当該系統の片道の運行距離

[運行回数]

平日1日当たりの運行回数(土・休日みの運行の場合は、土・休日の運行回数。)

往復で1回とカウント。

[営業係数順]

系統番号	路線名	営業係数	路線長 (km)	運行回数 (回)	実車走行キロ (km)	輸送人員 (人)	収支 (千円)
44	近畿病院線	45.57	2.1	1.0	1,012	13,609	1,070
	J R 松ヶ丘中野大橋線	81.25	3.9	0.5	940	7,088	192
6	J R 小井内池尻線	83.69	4.9	1.5	3,543	25,928	611
49	J R 北野線	100.55	6.0	2.5	9,462	57,631	△46
53	J R 伊丹坂萩野線	102.90	5.9	2.0	7,168	42,659	△179
34	塚口堀池団地伊丹線	107.20	5.8	7.5	25,352	144,841	△1,506
51	J R 萩野鶴田線	107.27	6.1	47.0	208,907	1,192,701	△12,522
18	J R 松ヶ丘西野団地線	107.83	6.1	37.0	165,279	938,663	△10,622
17	J R 昆陽池西野団地線	108.95	6.2	24.0	94,655	532,027	△6,884
33	塚口堀池団地 J R 線	110.94	6.5	1.5	12,720	70,218	△1,110
2	J R 桜ヶ丘荒牧公園線	111.73	6.6	73.0	334,851	1,835,441	△31,097
7	J R 小井内鴻池線	116.72	7.8	49.0	274,833	1,441,983	△34,839
37	塚口 J R 伊丹線	121.33	5.8	37.0	165,607	835,924	△25,758
1	J R 小井内荒牧公園線	121.91	9.3	12.0	70,671	355,009	△11,239
5	J R 中山寺伊丹線	121.99	7.6	18.0	82,969	416,519	△13,234
43	佐々原山田線	125.78	3.9	8.5	25,592	124,598	△4,642
41	近畿病院山田線	126.01	3.7	28.0	88,733	431,252	△16,206
35	塚口堀池団地昆陽里線	126.67	4.9	17.0	56,972	275,449	△10,613
40	塚口伊丹病院三師団線	130.52	5.1	35.5	104,943	492,411	△21,712
4	J R 池尻中山寺線	131.64	9.9	5.0	37,333	173,674	△7,940
13	J R 伊丹病院山田線	132.34	5.9	7.0	32,308	149,512	△6,986
24	サンシティ東部循環線	136.61	13.4	0.5	3,217	14,420	△763
52	J R 萩野中山寺線	138.46	8.4	6.0	33,718	149,132	△8,287
14	J R 伊丹病院昆陽里線	139.93	5.1	25.0	82,712	361,978	△20,887
20	伊丹病院岩屋循環線	147.85	12.3	1.0	5,905	24,456	△1,691
60	塚口池尻三師団線	160.62	8.8	1.5	6,435	24,537	△2,149
61	塚口近畿病院三師団線	165.06	7.0	13.5	60,347	223,896	△21,049
3	サンシティ荒牧公園線	167.48	9.0	6.5	34,731	126,999	△12,383
50	J R 北野三師団線	170.61	10.4	0.5	3,765	13,515	△1,379
23	岩屋循環線 (クリーンスポーツ廻り)	191.62	11.3	2.5	17,718	56,624	△7,496
36	伊丹山田線	200.52	6.0	10.5	46,716	142,672	△20,723
25	伊丹空港線	210.71	13.3	18.5	179,098	520,532	△83,268
54	J R 萩野南三師団線	218.09	9.8	0.5	1,186	3,328	△568
62	塚口佐々原三師団線	222.43	7.2	6.5	25,258	69,541	△12,302
31	山本団地線	229.29	7.4	19.0	97,247	259,734	△48,522
55	J R 中山寺萩野三師団線	240.09	8.4	1.0	5,090	12,986	△2,628
22	岩屋循環線	242.81	9.5	15.0	101,937	257,102	△53,053
30	伊丹三師団線	330.67	6.4	3.0	13,901	25,743	△8,581
84	市役所下河原線	366.46	5.8	8.5	37,393	62,489	△24,059
82	猪名川下河原線	967.44	3.9	0.5	940	593	△746
32	山本団地三師団線	1,294.02	6.9	0.5	1,711	810	△1,397
39	山田三師団線	1,460.00	7.5	0.5	908	381	△748
	合計	131.84			2,563,783	11,908,605	△547,941

市営バス路線維持補助金

【補助対象路線】

経費の内、人件費を民間事業者平均に置き換えてもなお、収支不足を生じる路線。

ただし、車庫への出入庫を主な目的とする路線は、対象外。

【補助金額】

補助対象路線の収支不足相当額（人件費置き換え後）原則、150,000千円を補助額の上限とする。

【補助の時期】

算定対象年度の翌々年度

※決算確定後に補助額の算定を行い、予算措置するため。

路線維持補助金の内訳（補助年度：令和5年度）

243
1,158
286
620
6,726
4,142
※補助対象外
3,307
9,690
41,016
※補助対象外
6,351
25,621
1,431
29,074
5,327
15,320

※補助対象外

※補助対象外

※補助対象外

合計 150,312 ⇒ 路線補助金 150,000千円

[方面別営業係数]

系統番号	系統名	起点	経由地	終点	方面区分	営業係数	方面別営業係数		
31	山本団地線	阪急伊丹	辻村・総監部前	山本団地	北部⇔中心市街地	229.29	229.29		
1	JR小井内荒牧公園線	J R伊丹	小井内・南畑	荒牧バラ公園	北西部⇔中心市街地	121.91	120.57		
2	JR桜ヶ丘荒牧公園線	J R伊丹	桜ヶ丘8丁目・スポーツセンター前	荒牧バラ公園		111.73			
3	サンシティ荒牧公園線	J R伊丹	サンシティ	荒牧バラ公園		167.48			
4	J R池尻中山寺線	J R伊丹	池尻	J R中山寺		131.64			
5	J R中山寺伊丹線	J R伊丹	伊丹病院住友前	J R中山寺		121.99			
7	JR小井内鴻池線	J R伊丹	小井内・西野	鴻池東		116.72			
16	JR松ヶ丘中野大橋線	中野大橋	伊丹病院住友前・札幌辻	J R伊丹		81.25			
49	JR北野線	J R伊丹	春日丘西・総監部前	北野		100.55			
51	JR荻野鶴田線	J R伊丹	春日丘西・総監部前	鶴田団地		107.27			
52	JR荻野中山寺線	J R伊丹	春日丘西・総監部前	J R中山寺		138.47			
53	JR伊丹坂荻野線	J R伊丹	伊丹坂・総監部前	荻野南		102.90			
84	市役所下河原線	阪急伊丹	裁判所前・北村	下河原		北東部⇔中心市街地		366.46	366.46
6	JR小井内池尻線	池尻	昆陽里・札幌辻	J R伊丹		西部⇔中心市街地		83.69	107.81
17	JR昆陽池西野団地線	J R伊丹	裁判所前・天神川団地	西野武庫川センター前	108.95				
18	JR松ヶ丘西野団地線	J R伊丹	札幌辻・伊丹病院住友前	西野武庫川センター前	107.83				
13	JR伊丹病院山田線	J R伊丹	大鹿口・市役所前	山田	南西部⇔中心市街地	132.34	151.41		
14	JR伊丹病院昆陽里線	J R伊丹	阪急伊丹・大鹿口	昆陽里		139.93			
36	伊丹山田線	阪急伊丹	J R猪名寺・野間	山田		200.51			
20	伊丹病院岩屋循環線	阪急伊丹	神津・岩屋	松ヶ丘	南東部⇔中心市街地	147.85	223.66		
22	岩屋循環線	阪急伊丹	神津・岩屋	阪急伊丹		242.81			
23	岩屋循環線(クリンスポ・ツ廻り)	阪急伊丹	神津・クリンスポ・ツランド前	阪急伊丹		191.62			
24	サンシティ東部循環線	阪急伊丹	岩屋・神津	サンシティ		136.61			
33	塚口堀池団地J R線	塚口	近畿中央病院前・小井内	J R伊丹	阪急塚口⇔南部・中心市街地	110.94	129.66		
34	塚口堀池団地伊丹線	塚口	近畿中央病院前・小井内	阪急伊丹		107.20			
37	塚口JR伊丹線	塚口	堀池口・市高前	J R伊丹		121.33			
35	塚口堀池団地昆陽里線	塚口	近畿中央病院前・小井内	昆陽里		126.67			
40	塚口伊丹病院三師団線	塚口	稲野・伊丹病院住友前	三師団交通局前		130.52			
41	近畿病院山田線	塚口	近畿中央病院前・野間	山田		126.01			
43	佐々原山田線	塚口	長沢・野間	山田		125.79			
44	近畿病院線	塚口	塚口町5丁目・北町	車塚		45.57			
60	塚口池尻三師団線	塚口	近畿中央病院前・山田	三師団交通局前		160.62			
61	塚口近畿病院三師団線	塚口	近畿中央病院前・野間	三師団交通局前		165.06			
62	塚口佐々原三師団線	塚口	長沢・野間	三師団交通局前		222.43			
25	伊丹空港線	J R伊丹	阪急伊丹・神津・大阪国際空港	J R伊丹		210.71		出入庫・その他	
30	伊丹三師団線	阪急伊丹	辻村・総監部前	三師団交通局前		330.67			
32	山本団地三師団線	三師団・交通局前	玉田団地・総監部前	山本団地		1294.02			
39	山田三師団線	三師団・交通局前	行基町1丁目・女性児童センター前	山田	1460.00				
50	JR北野三師団線	J R伊丹	春日丘西・総監部前	三師団交通局前	170.61				
54	JR荻野南三師団線	J R伊丹	伊丹坂・総監部前	三師団交通局前	218.09				
55	J R中山寺荻野三師団線	三師団・交通局前	玉田団地・瑞ヶ池	J R中山寺	240.09				
82	猪名川下河原線	阪急伊丹	本町・藤ノ木	下河原	967.44				

【検討事項2】

○乗合旅客運賃改定（値上げ）の要否について

1. 収支見込表（運賃改定を実施しなかった場合）（※第1回全体会資料P.18【表6-1】再掲）

（単位：千円）

区分		年度	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	備考	
経常収支	収入	運賃	1,691,293	1,781,617	1,794,830	1,825,366	1,875,650		
		営業収益	内、有料券種	1,094,293	1,184,617	1,197,830	1,228,366	1,278,650	R1対比でR5=84.0%、R6=85.5%、R7=89.0%で推移すると想定
			内、特別乗車証	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000	現行の負担金額で推移
			計	1,691,293	1,781,617	1,794,830	1,825,366	1,875,650	
		その他	29,411	27,680	28,849	29,719	29,719	広告料、払戻手数料	
	計	1,720,704	1,809,297	1,823,679	1,855,085	1,905,369			
	営業外収益	国庫補助金	16,838	252	1,377	0	0		
		他会計補助金	226,328	241,810	225,370	224,370	223,370	一般会計補助金	
		その他	21,227	33,142	64,715	45,270	33,816	長期前受金戻入、事故還付金等	
		計	264,393	275,204	291,462	269,640	257,186		
	合計(A)		1,985,097	2,084,501	2,115,141	2,124,725	2,162,555		
	支出	営業費用	人件費	1,789,583	1,718,614	1,785,355	1,763,225	1,728,403	
			車両修繕費	76,665	90,530	89,093	89,984	90,884	
			燃料費	137,222	167,309	168,554	170,453	173,862	
			減価償却費	148,161	176,572	203,169	175,595	142,904	
			その他	117,014	105,716	143,249	128,951	130,240	
		計	2,268,645	2,258,741	2,389,420	2,328,208	2,266,293		
営業外費用		支払利息	450	443	657	1,468	1,642		
		雑支出	3	1,609	1	10	10		
計		453	2,052	658	1,478	1,652			
合計(B)		2,269,098	2,260,793	2,390,078	2,329,686	2,267,945			
経常損益(A-B)=(C)		△ 284,001	△ 176,292	△ 274,937	△ 204,961	△ 105,390			
特別損益	特別利益(D)	0	0	1	0	0			
	特別損失(E)	5,906	5,406	4,807	4,000	4,000	乗合車両売却損(R5=5両・R6=5両・R7=5両)		
	特別損益(D-E)=(F)	△ 5,906	△ 5,406	△ 4,806	△ 4,000	△ 4,000			
単年度純損益(C+F)		△ 289,907	△ 181,698	△ 279,743	△ 208,961	△ 109,390			
繰越利益剰余金(△欠損金)		△ 755,388	△ 937,086	△ 1,216,829	△ 1,425,790	△ 1,535,180			

※R5年度は当初予算(但し、乗合旅客運賃収入から運賃改定による増収見込額9,000千円を減額)、R6・R7年度は直近の状況を基に推計。

2. 収支見込表（運賃改定を実施した場合）（※第1回全体会資料P.19【表6-2】再掲）

（単位：千円）

		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	備考		
経常	収入	運送乗合旅客運賃	1,691,293	1,781,617	1,803,830	1,942,060	1,997,121		
		内、有料券種	1,094,293	1,184,617	1,206,830	1,345,060	1,400,121	R1対比でR5=84.0%、R6=85.5%、R7=89.0%で推移すると想定	
		内、特別乗車証	597,000	597,000	597,000	597,000	597,000	現行の負担金額で推移	
		計	1,691,293	1,781,617	1,803,830	1,942,060	1,997,121		
	その他	29,411	27,680	28,849	29,719	29,719	広告料、払戻手数料		
	計	1,720,704	1,809,297	1,832,679	1,971,779	2,026,840			
	国庫補助金	16,838	252	1,377	0	0			
	他会計補助金	226,328	241,810	225,370	224,370	223,370	一般会計補助金		
	その他	21,227	33,142	64,715	45,270	33,816	長期前受金戻入、事故還付金等		
	計	264,393	275,204	291,462	269,640	257,186			
	合計(A)	1,985,097	2,084,501	2,124,141	2,241,419	2,284,026			
	支出	営業費用	人件費	1,789,583	1,718,614	1,785,355	1,763,225	1,728,403	
			車両修繕費	76,665	90,530	89,093	89,984	90,884	
			燃料費	137,222	167,309	168,554	170,453	173,862	
			減価償却費	148,161	176,572	203,169	175,595	142,904	
その他		117,014	105,716	143,249	128,951	130,240			
計		2,268,645	2,258,741	2,389,420	2,328,208	2,266,293			
支払利息		450	443	657	1,468	1,642			
雑支出		3	1,609	1	10	10			
計	453	2,052	658	1,478	1,652				
合計(B)	2,269,098	2,260,793	2,390,078	2,329,686	2,267,945				
経常損益(A-B)=(C)		△ 284,001	△ 176,292	△ 265,937	△ 88,267	16,081			
特別損益	特別利益(D)	0	0	1	0	0			
	特別損失(E)	5,906	5,406	4,807	4,000	4,000	乗合車両売却損(R5=5両・R6=5両・R7=5両)		
	特別損益(D-E)=(F)	△ 5,906	△ 5,406	△ 4,806	△ 4,000	△ 4,000			
単年度純損益(C+F)		△ 289,907	△ 181,698	△ 270,743	△ 92,267	12,081			
繰越利益剰余金(△欠損金)		△ 755,388	△ 937,086	△ 1,207,829	△ 1,300,096	△ 1,288,015			

※R5年度は当初予算、R6・R7年度は直近の状況を基に推計（乗合旅客運賃収入に運賃改定による増収見込額を加算）。